

令和6年第12回小金井市教育委員会定例会議事日程

令和6年11月26日(火)

午後1時30分開会

開催日時	令和6年11月26日	開会 閉会	1時30分 2時15分	
場 所	第二庁舎8階 801会議室			
出席委員	教 育 長 教育長職務 代理者	大熊 雅士 浅野 智彦	委 員 委 員	小山田佳代 穂坂 英明
欠席委員	委 員 佐島 規			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 生涯学習部長 庶務課長 指導室長 統括指導主事	大津 雅利 梅原啓太郎 鈴木 功 平田 勇治 田村 忍	指導主事 指導主事 図書館長 公民館長 庶務課庶務係長	向井隆一郎 高久かおり 内田 雄介 渡邊 健介 小平 文洋
調 整				
傍聴者人数	2名			

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	選 第 1 号	小金井市長期計画審議会委員の推薦について
第 3	報 告 事 項	1 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念式典について
		2 その他
		3 今後の日程
第 4	議案第27号	職員の分限処分について
第 5	議案第28号	職員の分限処分について
第 6	議案第29号	職員の分限処分について

開会 午後1時30分

大熊教育長 ただいまから令和6年第12回小金井市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、佐島委員より欠席届が提出されております。よろしくお願
いいたします。

日程の第1、会議録署名委員の指名についてです。

本日の会議録署名委員は、浅野教育長職務代理者と小山田委員に
お願いいたします。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

大熊教育長 次に、日程の第2、選第1号、小金井市長期計画審議会委員の推
薦についてを議題といたします。

提案理由について説明をお願いいたします。

大津学校 提案理由について御説明いたします。

教育部長 本件につきましては、第5次小金井市基本構想・前期基本計画の
効果検証及び後期基本計画策定に係る調査審議のため、長期計画審
議会を設置することに伴い、小金井市長期計画審議会条例第3条第
2項第4号の規定に基づく委員を推薦する必要があるため、本案を
提案するものでございます。

細部につきましては担当から説明いたしますので、よろしく御審
議の上、御推薦賜りますようお願い申し上げます。

鈴木庶務課長 それでは、選第1号、小金井市長期計画審議会委員の推薦につい
て御説明いたします。

小金井市長期計画審議会は、第5次小金井市基本構想・前期基本
計画の施策評価に係る外部評価及び令和8年度から令和12年度
までの後期基本計画策定に関する調査審議を行うため、地方自治法
第138条の4第3項の規定に基づき設置している審議会で、同委
員は小金井市長期計画審議会条例第3条第1項の規定により定数
が16名以内となっており、うち同条第2項第4号の規定により教
育委員会の委員は1名となっております。

なお、委嘱日は令和7年1月を予定し、委嘱期間は2年間、会議

回数は全12回程度を予定しております。

説明につきましては以上となります。よろしく御審議の上、御推薦賜りますようお願い申し上げます。

大熊教育長

事務局の説明が終わりました。

何か御質問、御意見はございますか。

以上で質疑を終了いたします。

それでは、私どもで選挙の方法について御意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

小山田委員

指名推選でお願いしたいと思います。

大熊教育長

ただいま指名推選との御意見がありました。皆様、御異議ありませんか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

御異議なしと認めます。それでは、指名推選でどなたか推薦者を上げていただけますか。

小山田委員

浅野智彦教育長職務代理者を推薦したいと思います。

浅野委員ですが、第5次小金井市基本構想・前期基本計画の効果検証及び後期基本計画の策定に関する調査審議に当たりましては、前期計画の策定の際に審議会委員を務めていただきました。また、教育の分野に対しても非常に豊富な知識を持っていらっしゃると思います。東京学芸大学の教授でもあります浅野智彦教育長職務代理者が私は適任であると思います。いかがでしょうか。

大熊教育長

ただいま浅野教育長職務代理者を推薦との御意見がありましたが、皆様、御意見ありませんか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

浅野教育長職務代理者については継続になりますが、よろしいでしょうか。

浅野教育長
職務代理者

謹んでお受けいたします。

大熊教育長

御異議なしと認めます。それでは、浅野教育長職務代理者を小金井市長期計画審議会委員に推薦することに決定いたしました。浅野教育長職務代理者、よろしくお願いいたします。

小金井市の基本となる計画を策定するととても大事な委員であり、浅野教育長職務代理者が委員としていいのではないかなと思います。

教育のことにしても、審議の中で取り入れていただいて、私どもが考えたことも計画の中に入れていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、日程の第3、報告事項を議題といたします。

順次担当から説明願います。

初めに、報告事項の1、名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念式典について報告願います。

梅原生涯
学習部長

生涯学習課の取組につきまして、1点、口頭にて報告させていただきます。

令和6年10月10日の総合教育会議の中でも御報告させていただいたところですが、大正13年に国の名勝指定を受けました玉川上水沿いの小金井桜が、今年、令和6年、100周年という大きな節目の年を迎えております。

市内の商工会、観光まちおこし協会、東京小金井ロータリークラブをはじめとする奉仕5団体などの皆様による名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業実行委員会を立ち上げ、生涯学習課を事務局といたしまして、市内の小中学校へのヤマザクラの植樹、横断幕、ステッカー、ポストカードなどによる周知をはじめ、数多くの関連事業を実施しているところでございます。直近では、11月15日発行の市報こがねいを特集号と位置づけ、1、2面に関連記事を掲載いたしましたので、御覧いただければ幸いです。

また、学校教育部の御協力もいただいております。ちょうど100周年に当たる令和6年12月9日には市立小中学校14校の給食において小金井桜をイメージした記念献立を準備していただい

ると聞いております。

来る令和6年12月8日には、これらの事業の集大成ともいうべき記念式典を小金井宮地楽器ホールで開催する運びとなりました。当日は午前中に記念式典を、午後は小金井桜フェスと名づけ、様々なイベントを市民の皆様とともに実施する予定でございます。既に教育委員の皆様からは御出席いただける旨の返事も頂戴しているところでございます。御多忙のところ大変恐縮ではございますが、当日はよろしく願いいたします。

なお、参考までに、現時点では、衆議院議員、参議院議員の御本人または代理の方、東京都知事の代理の方、沿線自治体の首長様、桜の御縁でつながる岩手県北上市長様、茨城県桜川市長様なども御出席いただけると伺っております。

現在、生涯学習課を中心に、当日の晴天を期待しながら準備を進めてございます。次の100年に向け、記憶に残る式典にしたいと考えておりますので、引き続きの御理解、御支援をお願い申し上げ、口頭報告とさせていただきます。

大熊教育長

2、3年前から計画を立てて、ようやく残り2週間となりました。小金井市にある多くの団体で支援していただいて、計画も一緒に考えてここまで来たところです。環境政策課などの他課の御協力も得て、小金井の桜の絵のコンテストなど、いろんなことを行っておりますので、ぜひとも時間の許す限り見ていただければと思います。

それから、もう一つ、この間、学校訪問をしたときに校長先生や副校長先生から教えていただいたのですが、記念式典の次の日である令和6年12月9日、正に100周年の日に、桜にちなんだ献立給食を作ってくれるということです。

その校長先生は、試作の給食を食べ、まだ改良すると報告していただいたのですが、かなり気合が入ったものができるのではないかと考えています。実は、ついこの間まで知られていなくて、学務課と栄養士の方々に1年かけて研究していただいていたということが分かりました。

学校及び教育委員会を上げて、この100周年を迎えるということになるのかなと思うのですが、桜というのは、今回植樹しておしまいではないです。今から300年以上前、徳川将軍吉宗が玉川上水上にヤマザクラを植える指示をされてから、植え替え、植え替え

をしてきたそうです。今回も植え替えをすればそれでいいのかといったらそうではなく、今の子供たちは、このことをもって、また植え替えをしていくこととなるのです。

そういう意味では、今回、12月9日の日に小金井桜にちなんだ献立の給食を食べてもらうというのは一つのきっかけになると思います。さらにびっくりしたことに、なぜ桜にちなんだ献立なのかという動画も栄養士の方々が作製してくれたのです。この前、見せてもらいましたが、もう少し工夫を入れてみてはどうかと注文を入れてしまい、今つくり直している最中だと思いますが、状況は分かりますか。

大津学校
教育部長

実はもうほぼ出来上がっておりまして、中学校は出来上がっているようです。明日の市の定例記者会見の場で、できれば動画を披露したいと考えているところです。

大熊教育長

とても素敵な動画で、本当にびっくりします。その動画を1回見れば、何で今日は桜の献立の給食なのかというのが分かってもらえると思います。動画がとても作り慣れている出来だったので、担当の栄養士に聞いてみたら、栄養士の方々は給食調理のこととか、これまでも何かあったときに動画をつくらせて子供たちに見せてきたそうです。小金井市の給食は異次元とも思える対応をしているのではないかなと思いました。ただ食べるだけではなくて、その意味を理解してもらいたいということでした。とにかく驚きました。

大津学校
教育部長

動画は中学校用と、小学生用に分かるように2パターンをつくられているそうです。

大熊教育長

この間見たのが中学校用でしたよね。小学生用は、もう少し簡単にするということですね。

梅原生涯
学習部長

もう1点、補足ですが、その動画を式典当日の午後の部の入場を開始して開会宣言をするまでの時間に、会場で上映をさせていただこうと思っております。

大熊教育長

このようにいろんなことをやってくれているのです。

小金井桜の100周年を迎えるに当たって、たくさんの団体の人が守ってくれているので、午前中の式典ではその人たちに感謝状を贈ったりもしますよね。

梅原生涯
学習部長

あと、功労者表彰もですね。

大熊教育長

功労者表彰といって、これまで100周年を迎えるに当たって、桜の苗木をつくってくれた方や、小金井桜の会の人たちを表彰します。そして、今回すごいことに都立農業高校の生徒さんが苗木の接ぎ木をしてくれているのです。農業高校の敷地内で桜を育ててもらって、その育てた桜を、今、玉川上水上に植えているのですよね。さらに驚いたことに、一部は農業高校の子供たちがプレゼンをしてくれました。それから、式典の壇上に花を飾る予定ですが、その花も農業高校で育てた花で飾ってくれる予定なのです。何と云ったらいいか、感謝の気持ちでいっぱいです。そうやってこの100周年をみんなでお祝いする動きがあります。

また、おめでたい席なので、関野町餅つき保存会の皆様も餅つきを披露していただいて、ついたお餅は最後に子供たちにふるまってくれるそうで、子供たちにもいい思い出ができるのかなと思います。

語り始めるとずっと喋ってしまいますが、とにかくこの場をお借りして、実行委員の皆さんには本当にお世話になったこととお伝えしたいです。

今回の大事な視点としては、なぜ小金井桜が名勝になったかということ。他の地域ではみなソメイヨシノという同じクローンの桜ばかりが植えられていたにもかかわらず、小金井の桜は多様な桜が植えられ、これだけ多様な桜が植えられている場所は世界でも珍しいことから、名勝指定されたのです。多様な桜をこれからも守り続けるということは、ありとあらゆるところで継承していってほしいなと思います。これまでの市民の方々によって多様な桜を守り育ててきた、これからもその多様な桜を守り育てるということ。今回、この100周年で高らかに宣言をしたいなと、そんなふうに思っているところです。いろんところで言いたいと思いますので、皆さんもそのことを広めていただきたいと思います。

その他、質問はよろしいでしょうか。

とにかく実行委員の皆様、本当にありがとうございました。最後のあと2週間、頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、報告事項2、その他です。

学校教育部から報告があれば発言願います。

大津学校
教育部長

指導室から1件ございます。よろしく願いいたします。

平田指導室長

教育相談の充実について御報告いたします。

児童・生徒が教職員以外に相談できる相談機関として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談所など相談体制を充実させてきたところです。現在、教育相談の充実として子どもオンブズパーソンとの連携をさらに積極的に進めております。

昨年度から全小学校において子どもの権利に関する授業を行っていただいております、今年度は小学校だけでなく希望する中学校においても子どもの権利やいじめ防止に関する授業を実施していただけます。

最近の子供たちの様子で気になることといたしましては、保護者の非常に高い目標設定によって、児童・生徒が成績に対する不安であったり、将来や進路に対する不安、保護者との関係に関する不安などを抱えていることが上げられます。

先日、子どもオンブズパーソン事務局と連携して、小学校6年生、中学校3年生向けに子どもオンブズパーソンを周知するリーフレットを新たに作成し、配布いたしました。中学校3年生につきましては、電子データに加え、カラー印刷したリーフレットも配布いたしました。子供たちが悩みを一人で抱え込むことなく安心して相談することができる教育相談について、引き続き充実を図ってまいります。

また、前回の教育委員会では不登校の状況について報告させていただきましたが、不登校と同様に注視していかなければならない教育課題としていじめの問題が上げられます。令和5年度小金井市立学校におけるいじめの認知件数ですが、小学校が947件、中学校が152件となっております。1校当たりの件数で見ると、小学校は1校当たりが約105件、中学校は1校当たり約30件とな

ってまいります。

このいじめの認知につきましては、適切に、積極的に認知することにより、いじめの拡大防止や早期解決につなげているところです。各学校には、全教職員がいじめの定義を正しく理解するとともに、いじめ問題に対して組織的な対応をするように、徹底するように指導しております。

いじめ問題につきましても、引き続き子供たちが安心して相談できる体制の充実に努めてまいります。

報告は以上となります。

大熊教育長

報告に対して何か御意見はございますか。私からよろしいですか。

教育相談、いわゆるスクールカウンセラー等々の関わりだけではなくて、子どもオンブズパーソン事務局としっかり連携が取れたことはとてもいいことだと思っています。

今、子どもの権利のことについても指導室長から報告があったように、実際に子どもオンブズパーソン事務局に学校へ出張に行ってもらって子どもの権利のことについて勉強する機会を設けていただいています。子どもオンブズパーソン事務局への相談もかなり増えているのですが、相談が増えていっている理由の一つに、コロナ禍を超えて家庭の孤立化が一層進んでしまったのではないかなというのが一つありまして、その点にやはり着目して、地域で子供を育てる大切さをもう一度分かってもらうことが必要なのではないかなと思っています。

子供と親だけの関係となる子育ての中では意見の食い違いが出てたとしても、それを乗り越えて子供は育っていくのだろうと思いますが、私たちが小さい頃は、親とけんかしてしまったときは、近所の方や親戚の人と相談ができ、それで心穏やかになりながら、また親との関係を修復するということがありました。しかし、今はそうやって、相談するという相手もなかなかいないと思います。そうなると、親子関係もなかなか修復できなかつたりするという、そういう問題も今あるのではないかなと思っています。

だから、今の教育を考えるときに、学校と家庭ということではなくて、学校と家庭と地域を結んで、その中で子供の安心安全がしっかりと担保されながら育っていくという、そういう地域をつくっていかなくちゃいけないな、そんなふうに思います。

なぜこんな話をしているかという、本市は全校がコミュニティ・スクールになって、最終的に地域を巻き込んで、今、子供たちをどう育てていくべきか、子供たちが育つための土壌はどうあるべきかということを考える場所があるわけです。教育委員会としても、今の子供たちの課題にどう向き合っていくかということは、今後も少しずつ検討し発信していかなければならないと思っておりますが、委員の皆さまはどう思われますか。

小山田委員

私も教育長とももちろん同意見ですが、小金井市ではコミュニティ・スクールを全小・中学校で実施することになったので、地域で子供を育てるということで、近所のおじさんやおばさんと知り合うきっかけになったり、地域学校協働活動が一体化して充実することで、その可能性が非常に高くなったと思います。本来そういうことができるのがコミュニティ・スクールだと私は思っています。

自分が何か悩みを相談したくなったとき、子どもオンブズパーソンはありますが、そこまでではなく、もう少し身近なところで話を聞いてほしいときに、頼れるおばさん、おじさん、お姉さん、お兄さんがいて、子どもの親以外で話してみようという頼れる人を見つけるという意味でも、コミュニティ・スクールが充実してくれればと思います。いろんな人たちが学校、子供の活動に関わるというところで、子供たちもいろんな人と知り合うきっかけになると思います。そういった可能性は非常に高いと思いますし、今こういった問題があるということもコミュニティ・スクールで、協議していただきたいです。今こんな問題があつて、自分の地域でどのぐらいの、例えばじめの件数が増えているのだとか、こういった問題があるのだということも、コミュニティ・スクールで実際に皆さんにも分かっていたら、地域でどういうことができるかということも話し合ってもらいたいです。そういうことが本当のコミュニティ・スクールだと思うので、先日も学校運営協議会の代表者会議の研修に出席させていただいたとき、皆さん非常に熱心で、やる気はたくさんありました。しかし、皆さんから市民の地域の人たちには、コミュニティ・スクールがどういうものなのかまだ知られていないという話が出ておりました。まだまだですが、本当にやる気のあるすばらしい皆様がいらっしゃるので、皆さんの中でいろんな話し合いをしていただき、ますますコミュニティ・スクールが充実していくように教育

委員会としても支援していけたらいいなと思っております。

大熊教育長 ほかにございませんか。

浅野教育長 家庭、家族というのはどうしても閉じた領域になるので、その中で親密な関係が繋がれている分、緊張関係が高まると、その圧力も大変高くなってしまうと思うのですよね。

職務代理者

教育長がおっしゃったように、家庭の中で緊張関係が高まると子供にとっては大変つらいことになる。そのときにどれだけ外側に一旦退避できる場所を持っているのかということが結構重要なんだと思います。

昔であれば、近くにおじいさん、おばあさんが住んでいたとか、おじさん、おばさんとか、あるいは友達のお母さん、お父さんとか、近くにそういった形で退避できる場所が自然とあったわけですが、だんだんとそういったことが少なくなってきていますので、それを我々のほうで、いわば工夫をして補っていく必要があるだろうなと考えます。

あわせて、いじめも含めていろいろな案件が起こってきて、指導室長をはじめとして、指導室にはここまで丁寧に御対応いただいているところと承知しております。この先もしっかり、1件1件丁寧に御対応いただけるとありがたいなと思っております。

よろしく申し上げます。

大熊教育長 最後、どうですか。

穂坂委員 私たちの子供の頃は、今だったらいじめに区分けされてしまうような経験もありました。しかし、再三、今言われているように、昔はそれを注意する近所のおじさん、おばさんがいたことで、その先には進まなかったのがよかったのだなと思っています。今はそういうつながりが希薄になっていることが問題にあるのではないかなと感じております。

大熊教育長 私自身も思い当たる節があります。所謂いざこざというのは、子供たちの中にはあると思うのですよ。それが継続しないこと、それが次の学びにつながるということになればいいのですが、相手の心

を傷つけ続けてしまうという、とにかくその手前でしっかり大人が介入して、そうならないように努力しなければなりません。しかし、その大人が、先生だけでは難しいと思うのです。だから、今、小山田委員が言われたように、地域の中でそういう関わりを広げていくということは大事なことだと思うので、教育委員会としてコミュニティ・スクールの中での話し合いで、安心、安全があふれる地域づくりということについて話し合ってもらいたいというのは要望として出させてもらうのでどうでしょうか。

小山田委員 ぜひ、お願いいたします。

大熊教育長 理由は細かく話をするかもしれないけど、その辺のことについてコミュニティ・スクールでもぜひ議題に上げて取り組んでいただきたいということを要望したいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、生涯学習部から報告があれば発言願います。

梅原生涯
学習部長 特にございませぬ。

大熊教育長 以上で、報告事項2を終了します。

次に、報告事項の3、今後の日程についてですが、詳細は配付の資料のとおりとなります。

日程について何か質問ございますか。よろしいでしょうか。

以上で報告事項を終了いたします。

次に、日程第4、議案第27号から日程第6、議案第29号までを議題とするところですが、本案は人事に関する事件で、小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当するため、非公開の会議が相当と判断いたしますが、委員の皆様、御異議はございませんか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 異議なしと認めます。秘密会を開会いたします。
準備のため休憩いたします。

傍聴人の方におかれましては席を外していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

休憩 午後2時10分

再開 午後2時15分

大熊教育長

再開します。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして、令和6年第12回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 午後2時15分